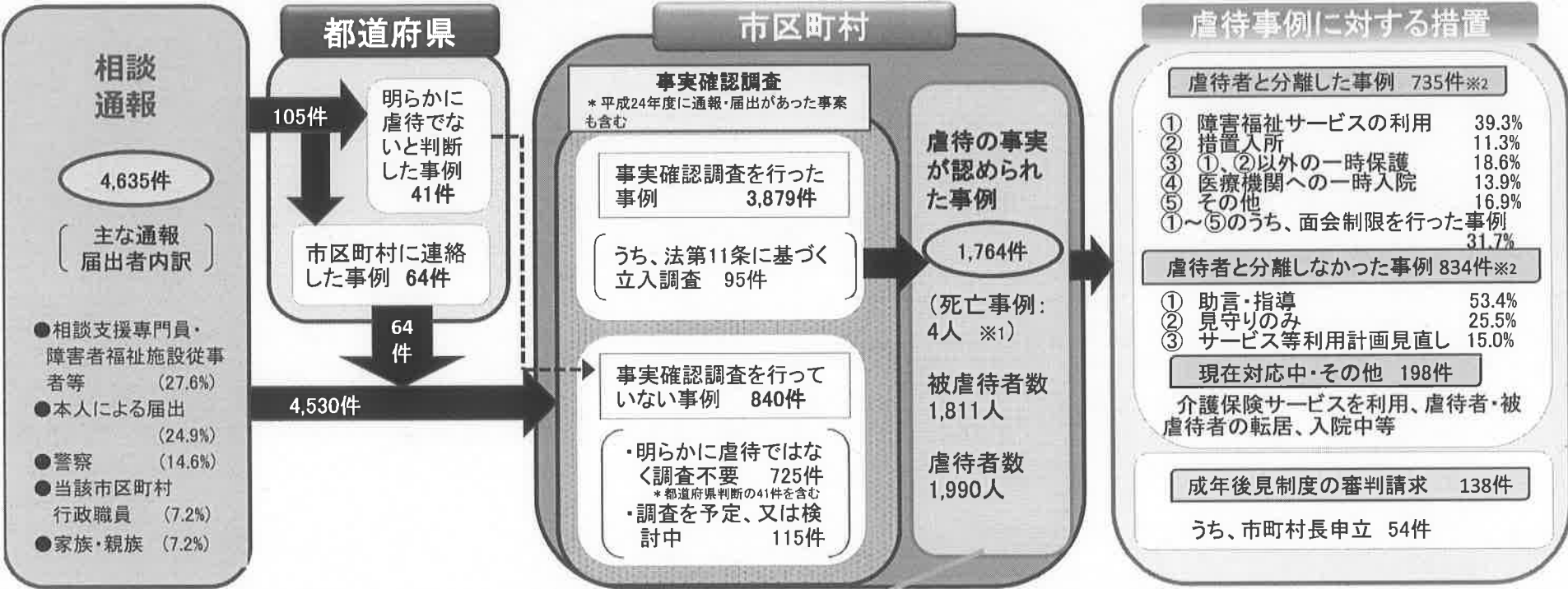


平成25年度 障害者虐待対応状況調査<養護者による障害者虐待>



虐待者(1,990人)

- 性別
男性(65.6%)、女性(34.1%)
- 年齢
60歳以上(32.9%)、50～59歳(22.6%)
40～49歳(19.9%)
- 続柄
父(20.6%)、兄弟姉妹(19.7%)
母(18.6%)

虐待の種別・類型(複数回答)

身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	放棄、放置	経済的虐待
63.3%	5.6%	31.6%	18.9%	25.5%

被虐待者(1,811人)

- 性別 男性(37.1%)、女性(62.9%)
- 年齢
50～59歳(20.9%)、40～49歳(19.5%)
20～29歳(19.4%)
- 障害種別

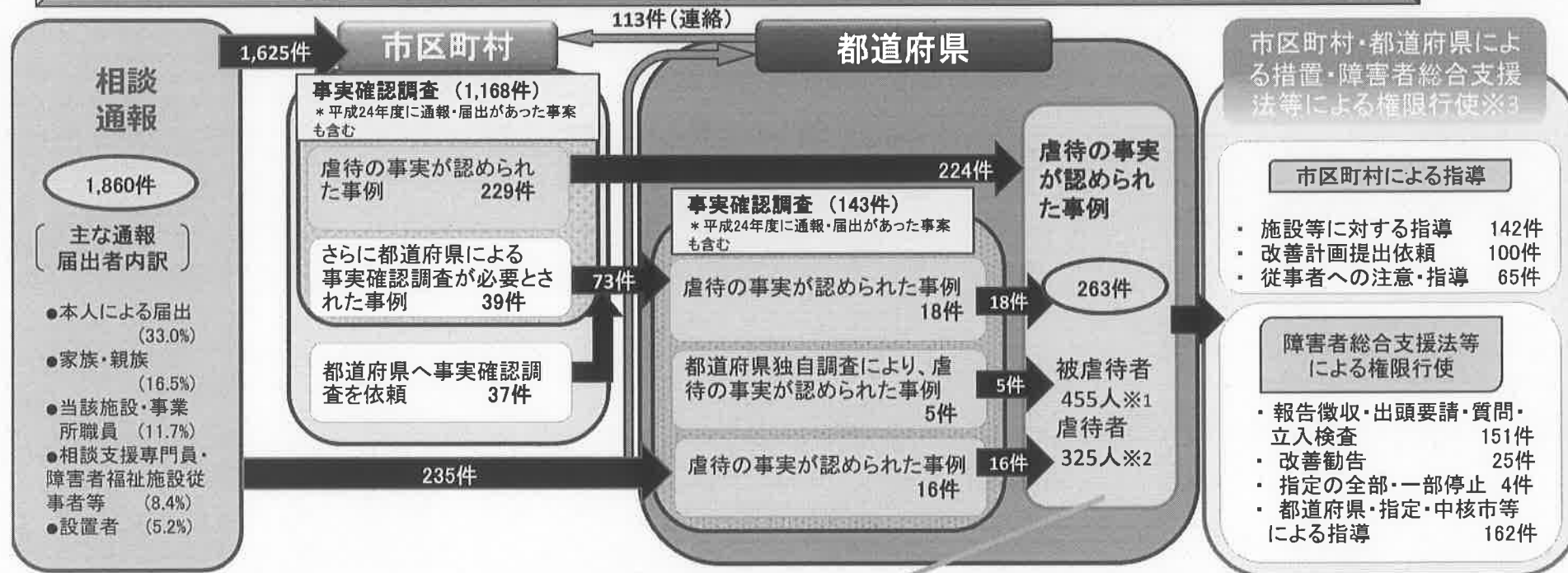
身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	その他
25.8%	50.6%	36.0%	1.7%	2.0%

- 障害程度区分認定済み (51.7%)
- 行動障害がある者 (25.1%)
- 虐待者と同居 (79.8%)
- 世帯構成
両親と兄弟姉妹(13.5%)、単身(10.8%)、配偶者(10.0%)

※1 うち2件は、心中事件により発覚した事例のため、1,764件には含まれていない。
※2 虐待者との分離については、被虐待者が複数で異なる対応(分離と非分離)を行った事例が含まれるため、虐待事例に対する措置の合計件数は、虐待が認められた事例1,764件と一致しない。

平成25年度 障害者虐待対応状況調査＜障害者福祉施設従事者等による障害者虐待＞

参考資料2



虐待者 (325人)

- 性別
男性 (66.8%)、女性 (33.2%)
- 年齢
40～49歳 (20.9%)、50～59歳 (19.1%)
60歳以上 (17.5%)
- 職種
生活支援員 (43.7%)
その他従事者 (16.3%)
管理者 (9.5%)
設置者・経営者 (6.2%)
サービス管理責任者 (5.8%)

※1 不特定多数の利用者に対する虐待のため被虐待障害者が特定できなかった等の10件を除く253件が対象。
※2 施設全体による虐待のため虐待者が特定できなかった9件を除く254件が対象。
※3 平成25年度末までに行われた措置及び権限行使。

虐待の種別・類型 (複数回答)

身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	放棄、放置	経済的虐待
56.3%	11.4%	45.6%	4.6%	6.8%

障害者虐待が認められた事業所種別

障害者支援施設	71	27.0%
居宅介護	2	0.8%
重度訪問介護	2	0.8%
行動援護	1	0.4%
療養介護	2	0.8%
生活介護	36	13.7%
短期入所	5	1.9%
共同生活介護	35	13.3%
自立訓練	1	0.4%
就労移行支援	4	1.5%
就労継続支援A型	16	6.1%
就労継続支援B型	51	19.4%
共同生活援助	10	3.8%
移動支援	3	1.1%
地域活動支援センター	6	2.3%
児童発達支援	3	1.1%
放課後等デイサービス	15	5.7%
合計	263	100.0%

被虐待者 (455人)

- 性別
男性 (62.2%)、女性 (37.8%)
- 年齢
20～29歳 (25.3%)、40～49歳 (21.5%)、
30～39歳 (20.9%)
- 障害種別

身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	その他
29.2%	79.8%	14.1%	6.4%	1.8%

- 障害程度区分認定済み (74.1%)
- 行動障害がある者 (21.3%)